



# 地域子育てネットワークだより

令和3年6月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課

E-MAIL : danjokatei@pref.hyogo.lg.jp 電話 : (078) 341-7711 (内線 2798)



## 5月2日放送 「ひょうご発信！」で紹介されました

5月2日放送のサンテレビの県民情報番組「ひょうご発信！」で、**まちの子育てひろば、ひょうご子育て応援の店**が紹介されました。

### まちの子育てひろば 神戸市垂水区「つくしっこ広場」

この日は、“ひろばアドバイザー”による**人形劇**が行われ子どもたちは興味津々で様々な動きをする人形に見入っていました。

「つくしっこ広場」の活動は次ページで紹介しています。

◇「まちの子育てひろば」にひろばアドバイザーを派遣します！

詳しくは県HP「まちの子育てひろば」

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/matinokosodatehiroba.html>



### ひょうご子育て応援の店 神戸市垂水区「Café&kitchen komadori」

**手作りお弁当やお得な情報**の紹介とともに、店主に子育て応援に対する想いをお話いただきました。「ひょうご子育て応援の店」の詳細は下記をご覧ください。

☆放送内容はひょうごチャンネルホームページからご覧いただけます。ぜひご視聴ください。

ひょうごチャンネルHP「2021年5月2日ひょうご発信！」：<https://hyogo-ch.jp/video/1406/>

## 便利でお得♪うれしいサービス「ひょうご子育て応援の店」



このマークが目印！

県内約4,700店の協賛店が18歳未満の子育て世代を応援しようと料金割引や子ども連れが利用できる授乳室の設置など、様々なサービスを提供しています。ぜひ会員登録し、ご利用ください。  
子育て世代応援サービスを提供いただける店舗の登録も募集中。  
ご登録店舗にはステッカーをお送りします。

★詳しくは・・・「ひょうご子育て応援の店」ホームページ

<http://www.hyogo-kosodate.jp/>

## ～ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金～

県内の医療従事者等を支えるための寄附金を募集しています

【支援金の使途】

医療資材の調達、勤務環境の改善、飲料の差し入れ など

【お問い合わせ】

兵庫県新型コロナウイルス感染症対策本部総務班（連絡先：078-362-9870）



QRコード

## 子育て応援ネットの活動紹介

声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介します。

洲本市子育てネットワーク推進協議会は、みんなで守ろう・育てよう“心豊かなすもとっ子”をキャッチフレーズに日々活動を行っています。子どもたちへの見守り、声かけなどを行うとともに、**虐待や悩み相談などを専門機関へつなげていく**為の啓発ティッシュ配りや、**新生児家庭への子育て支援冊子の作成・配布**を行っています。推進員さんは各関係機関に所属している方が多いので、各団体の活動にも協力しています。

また、生後4ヶ月までの乳児のいる家庭を訪問する「**こんにちは赤ちゃん事業**」で配るための**スタイ(よだれかけ)**を**共同作業所より購入し、自分たちでラッピング**を施しています。短いメッセージを添えて渡すスタイは、お母さん方にたいへん好評です。

今後も、子どもたちや子育て家庭にやさしい洲本市を目指して活動を続けていきます。



洲本市子育てネットワーク推進協議会 会長 小石 雅代

## まちの子育てひろばの活動紹介

垂水区 上高丸地域福祉センター「つくしっこ広場」

子育て支援活動に取り組んで20年を迎えました。**親子で楽しく遊べる場所づくり、ママさん達の交流の場、子育ての悩みごと相談**、少しでもお手伝いが出来ればとの思いで「つくしっこ広場」として発足しました。

兵庫県の「子育て支援アドバイザー派遣事業」による、4月16日の人形劇「おまけのおまけ」では、親子共々楽しく鑑賞でき、子どもたちのキラキラ輝く瞳に触れて心から嬉しくなりました。この模様は、5月2日のサンテレビの「ひょうご発信！」で放映され、**地域の大勢の方々から励ましを頂きました。**



コロナ禍の下ですが、主任児童委員をはじめ、スタッフ一同、子どもたちのためママさんの子育て支援に頑張っています。

垂水区 上高丸婦人会 会長 悦 千代子



連載第 152 回

## 乳幼児健診や予防接種を遅らせないで

県立こども病院名誉院長 中村 肇

乳幼児健診の目的は、年齢ごとに起こりやすい病気や問題を早めに見つけて治療に結び付けることです。**予防接種も、感染症にかかる前に接種することが極めて大切です。**

一般的に、小児、とくに乳幼児では感染症に対する免疫力が低いために、多くの予防接種は満1歳までに実施されています。ただし、新型コロナウイルス感染症については、**小児では成人に比べて感染し難く、また重傷化する例が少ないため、ワクチン接種は高齢者からスタート**しています。

**集団・個別に関係なく、子どもや付き添いの保護者の方に発熱や咳などの症状がないことを確認して受診して下さい。**付き添いの方は手洗いを行って、マスクを着用してください。ただし、**2歳未満の乳幼児でのマスク着用はむしろ危険です。**

乳幼児健診やBCGなどの予防接種を集団で実施している市町村では、地域の流行状況により柔軟に対応しているところもあり、保健所や保健センターに確認してください。